

公益社団法人・日本技術士会・経営工学部会「工場・事業所見学行事」報告  
見学会幹事 奥田、阿津沢

1.日 時 平成29年7月6日(木) 13時~15時20分 技術士28名参加

2.見学先 「造幣局さいたま支局」

さいたま市大宮区北袋町1丁目190-22

3.見学内容(別紙に写真添付)

1) ビデオ上映による造幣事業及びさいたま支局説明

造幣局は、貨幣や勲章などの製造を行っており、本局が大阪で、広島とさいたまに支局がある。さいたま支局は、東京の豊島区にあったものが移転し、平成28年10月にさいたま支局として開局した。

ビデオでは、造幣局の歴史、大阪本局・各支局の紹介、貨幣製造の概要説明などが行われた。最近では外国の硬貨の製造を受注しているとのことであった。

2) 工場見学

工場案内の職員の説明を受けながら、プルーフ貨幣製造工程、勲章製造工程を見学した。プルーフ貨幣は装飾貨幣として販売用に製造されているもので、特別な洗浄等を施した円形に、圧印機で貨幣模様を二度打ちし、鮮明な模様を有する貨幣に仕上げられている。また、勲章工程は、七宝焼きなど手作業による細かな作業が行われている。

3) 博物館見学

工場と隣接する博物館を、工場に引き続き案内係の説明を受けながら見学した。

博物館には、①貨幣の歴史や古銭の展示、②貨幣や勲章の製造工程紹介、③記念硬貨、勲章、造幣局が製造した東京五輪のメダルなど、約1000点の展示があり、それらを見学した。

造幣局の主要業務の一つに貴金属の品位証明や分析などがあるがこれらの紹介も博物館に展示されていた。

4.質疑応答

工場見学中に多くの質問があったが、主なものは以下の通り。

- 500円硬貨の偽造防止4つの中で、どれが最も効果的か。  
→ある絵柄部分に細かな線を入れている。
- 工程中、傷等が付いた場合の処置は→再溶解に回す
- 勲章の作業者はどんな教育を受けた人→工芸高校の卒業者

5.所感

- 身近な硬貨の製造工程の管理やその偽造防止対策等を確認でき、参考になった。
- 事業の性格上、一部の機械が止まっている工程があったが、見学通路にはビデオ上映や現品展示が行われており、見学者用への配慮がなされていると感じた。
- 博物館の勲章や記念硬貨の展示は分かり易かった。
- 上記の通り、見学中活発な質疑応答があり、有意義な見学会であった。

以上

平成29年7月6日 「造幣局さいたま支局」見学会写真



ビデオ上映による紹介



博物館見学  
(工場内は撮影禁止)

